

# 環境経営レポート



刈鋌工業 株式会社

実施期間 2020年1月～2020年12月

作成日 2021年2月26日

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

## 目次

1 組織の概要	3 ページ
2 対象範囲	4 ページ
3 環境経営方針	5 ページ
4 環境経営目標	6 ページ
5 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み	7 ページ
6.1 環境経営目標の実績	8 ページ
6.2 環境経営目標(次年度以降の短・中期目標)	
6.3 環境活動取組(写真1・2)	
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	12 ページ
8 代表者による全体評価と見直しの結果	13 ページ

## 1. 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 功一
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数(2020年12月現在)	役員 3人 従業員 123人 派遣社員 38人
・売上高	2020年3月 44億2000万円 2019年3月 46億3000万円 2018年3月 42億2700万円
・環境管理責任者	取締役副社長 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 和田 靖弘(0565-52-3824)

## 2. 事業・内容活動

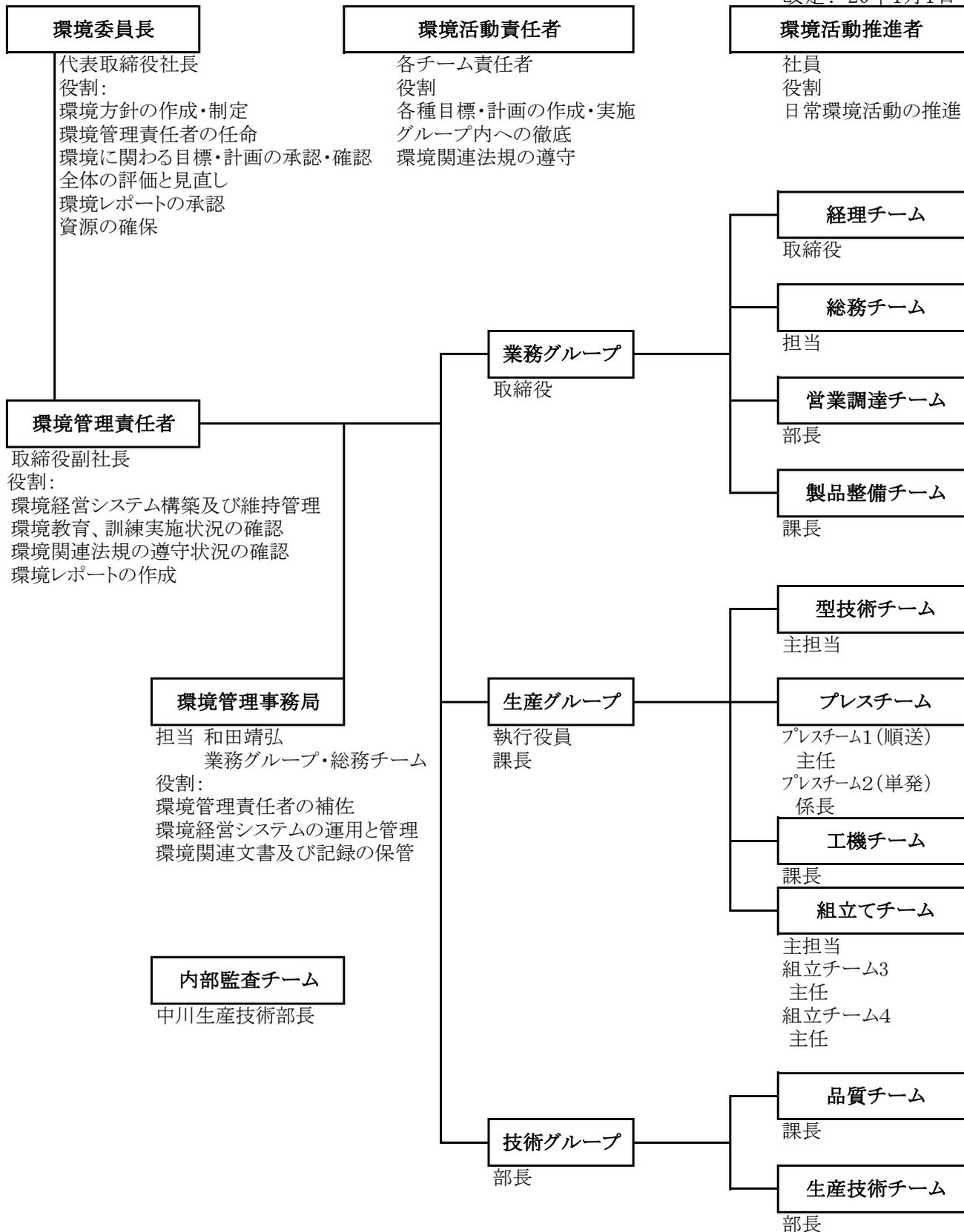
- ・自動車部品製造(車体系機能部品)
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

## 3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

## 2. 対象範囲

川鉄工業株式会社  
 作成: '17年 6月 1日  
 改定: '20年1月1日



役員3名 社員123名 派遣38名 合計164名

# 環境方針

## 環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

## 活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
  - ①省エネルギー活動を推進し、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。
  - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
  - ③グリーン購入の推進。
  - ④化学物質使用量の削減。
  - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
  - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にする企業を目指す。
  - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鉾工業株式会社  
環境委員長  
代表取締役

江原 功一

#### 4. 環境経営目標(2020年度)

19年度実績(基準)	目標('20年)
<p>エネルギー使用量の削減</p> <p>CO<sub>2</sub>の削減</p> <p>二酸化炭素排出 576.7t-CO<sub>2</sub></p> <p>原単位 40.45kg-CO<sub>2</sub>/1万個</p>	<p>-5%削減</p> <p>年 547.9t-CO<sub>2</sub></p> <p>38.43kg-CO<sub>2</sub>/1万個</p>
<p>購入電力の削減※</p> <p>1,170,465kWh</p> <p>388kW</p> <p>化石燃料使用量の削減</p> <p>9,184L</p>	<p>-5%削減</p> <p>年 1,111,942kWh</p> <p>最大電力 369kW</p> <p>年 8,725L</p>
<p>排出物の低減</p> <p>一般廃棄物</p> <p>燃やすごみ 14.15t</p> <p>再資源化物 0.70 t</p> <p>産業廃棄物</p> <p>再資源化物 11.67 t</p> <p>再資源化以外 0.88 t</p> <p>鉄スクラップの低減</p> <p>5,052.64t/年</p> <p>品質不良の低減</p> <p>クレーム件数 197 件</p>	<p>-5%削減</p> <p>燃やすごみ 13.44t</p> <p>再資源化物 0.67t</p> <p>再資源化物 11.09t</p> <p>再資源化以外 0.84t</p> <p>年 4,800t</p> <p>クレーム件数 187件</p>
<p>水使用量の削減</p> <p>6,614m<sup>3</sup></p> <p>化学物質使用量の削減</p> <p>PRTR対象物質</p> <p>139.9kg</p> <p>総化学物質</p> <p>23,130L</p> <p>購入資材の適正化</p> <p>鋼材使用量の削減</p> <p>10,762t</p> <p>部品使用量の削減</p> <p>1,081百万円</p> <p>紙使用量の削減</p> <p>256,500枚</p>	<p>-5%削減</p> <p>年 6,283m<sup>3</sup></p> <p>年 132.9kg</p> <p>年 21,974L</p> <p>年 10,224t</p> <p>年 1,027百万円</p> <p>年 243,675枚</p>
<p>グリーン購入の推進(事務用品)</p> <p>グリーン購入費44.37%</p>	<p>グリーン購入 90%</p>

※ 電力のCO<sub>2</sub>排出係数 0.474kg/CO<sub>2</sub>(中部電力2009年)

## 5. 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み

全社にて取り組む計画と各グループ・チームにおいて目標を立て実施する計画を立て活動

取組み項目	取組み内容	実績・評価
エネルギー使用量の削減 空調の温度設定管理 休憩時間の消灯管理 工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 個別活動計画表にて管理	○
排出物の低減について 一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入	○
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進	○
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減	○
品質不良の低減について	朝ミーティング活動 週一会議の実施	○
水使用量の削減について	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握	○
化学物質の使用量の削減	使用量の把握 適正使用量の管理	○
購入電力の削減 省エネタイプ設備への移行 デマンド装置の設置	設備導入時 時間ごとの電気使用量の把握	○
化石燃料の削減について ガソリン、軽油使用量の管理	アイドリングストップの周知 エコドライブの推進	○
灯油使用量の管理	ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入	○
購入資材の削減について 鋼材使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
紙資源の再利用の促進について コピー紙使用量の削減 帳票紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進 裏紙使用の周知 使用量の把握	○
グリーン調達推進について	新規購入品の確認 一覧表にて確認	○

●次年度も上記取組みを各グループ・チーム単位で個別に計画を立て、継続実施する。

## 6. 1環境経営目標の実績(2020年度)

\*生産比＝昨年比(実績%) / 昨年比(基準%)

2019年実績(基準)	2020年 環境目標	2020年 実績	昨年比	*生産比	実施状況の評価
14,258万個	総生産数	12,765万個	89% (基準)	—	
CO2排出量 576.71t-CO <sub>2</sub> 40.45kg-CO <sub>2</sub> /1万個	-5%削減 年 547.9t-CO <sub>2</sub> 原単位 38.43kg-CO <sub>2</sub> /1万個	547.30t-CO <sub>2</sub> 42.88kg-CO <sub>2</sub> /1万個	昨年比 95% 目標 99% 昨年比106% 目標比111%	107% —	CO2排出量はほぼ目標値だが、原単位では増加した
購入電力 1,170,465kWh 398kW	年 1,111,942kWh 最大電力 369kW	1,118,640kWh 393kW	96% 99%	108% 111%	昨年比よりは減少だが、生産比は増加した。原因(漏電など)を追求する必要がある 取り組み成果は出ているが原因の不明な突発的上昇が発生するため調査を継続する
化石燃料 9,184L	年 8,725L	7,134L	78%	88%	HV車を導入2年目となり、減少した
排出物 一般廃棄物 14.15t 0.70t	燃やすごみ実績 13.44t 再資源化物実績 0.67t	12.75t 0.56t	90% 80%	101% 90%	昨年比よりは減少だが、生産比は増加した。原因を追求する必要がある
産業廃棄物 11.67t 0.88t	再資源化物実績 11.09t 再資源化以外実績 0.84t	7.06t 2.55t	60% —	67% —	
鉄スクラップ 5,052.64t	年 4,800t	4,551.4t	90%	101%	生産比はほぼ横ばいなので、更なる減少へ向けての手立てを考える。
品質不良 197件	クレーム件数 187件	151件	77%	—	地道な努力によりクレーム数減少につながった
水使用量 6,614m <sup>3</sup>	年 6,283m <sup>3</sup>	4,745m <sup>3</sup>	72%	81%	昨年に引き続き、漏水修理やポンプの交換等を行い、使用量が削減できた
化学物質(PRTR)使用量 139.9kg 総化学物質使用量 23,130L	年 132.9kg 年 21,974L	116.1kg 21,241L	83% 92%	93% 103%	使用量を削減できた
購入資材 鋼材使用量 10,762t	年 10,224t	9,437t	88%	99%	生産が減少したので、ほぼ横ばいだった
部品使用量 1,081百万円	年 1,027百万円	1,171百万円	108%	121%	部品購入の必要な製品が増えているため
紙使用量 256,500枚	年 243,675枚	208,250枚	81%	91%	問題なく推移している
グリーン購入の推進 グリーン購入比44.37%	グリーン購入 90%	グリーン購入比67.61%	152%	—	集計方法の確立が必要

次年度は、今年度の計画を各Tさらに深掘りを行う

## 6.2環境経営目標(次年度以降の短・中期目標)

作成日:2021年2月26日

環境管理事務局

	単位	基準値	2021年度目標	中期目標
		直近3年間の実績値の平均*	2021年 1月～12月	2022年～ 2025年
二酸化炭素の削減			基準値比 -1%削減	2025年までに 基準値比 -5%削減
総排出量	kg-CO2	578,060		
原単位	kg-CO2/1万個	44.35		
購入電力	kWh	1,175,543		
ガソリン使用量	ℓ	5,684		
軽油使用量	ℓ	559		
灯油使用量	ℓ	2,493		
排出物の削減			基準値比 -1%削減	2025年までに 基準値比 -5%削減
一般廃棄物	kg	14,053		
産業廃棄物	kg	11,693		
鉄スクラップ	kg	4,955,015		
品質不良の低減				
クレーム件数	件	188	-1%削減	-5%削減
水使用量の削減	m3	6488	-1%削減	-5%削減
化学物質使用量の削減				
総使用量	ℓ	21648	実績の把握と 適正な管理を行う	
PRTR対象物質	kg	128		
購入資材の適正化				
紙使用量削減	枚	247818	-1%削減	-5%削減
グリーン購入の推進(事務用品)				
グリーン購入費	%	67%	購入率60%以上	

\* 2018年、2019年、2020年の実績値

## 6.3 環境活動取組

### 非常事態訓練の実施

8月8日火災を想定し全社員参加にて訓練を実施

避難指示に従い仮避難地に集まり、その時間や経路を確認した。

避難訓練後、消火器利用訓練を実施した。



### 6.3 環境活動取組

第1工場の会議室と事務所のエアコンを経年劣化のために新しいエアコンへ換えました。

会議室(天井埋め込み型)



事務所(天井埋め込み型)



これにより、空調効率が上がり、電気消費量が削減される見込みです。

社用車を経年劣化のため新車へ換えました。

正面



側面



これにより、化石燃料のガソリン消費量が削減される見込みです。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
公害防止組織の整備に関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検対象全て・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日

2021年 2月 26日

遵守評価者名

刈鋌工業株式会社

環境管理責任者

取締役 副社長 江原 圭亮

8. 代表者による全体の評価と見直し

実施日 2021年 2月 26日

刈鉾工業株式会社

見直しに必要な情報			代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項
<b>[取り組み状況の評価結果]</b> 今年度はコロナ渦の影響もあり、生産量減少となった。それに伴い、全体的に昨年比は減少している。ただし、CO2排出量や電力などは生産比ベースで増加していた。この点は周知、強化の余地がある。  品質向上、適正な鋼材調達といった面は成果が出ていると考えられる。  各種排出物への低減活動は可燃ごみや産廃物(再資源化)が減るといった傾向は出てきた。  <改善への提案> 人の入れ替わりが激しい中でも、人の手で守るしかないルールを継続して教育していく。			<b>[環境方針]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>[目標・環境活動計画の達成状況]</b> (詳細は環境活動計画書による)			<b>[目標・活動計画]</b> 変更の必要性: 必要に応じて変更する 下記指示事項
目標項目	昨年比状況	達成状況の評価	
CO <sub>2</sub> の削減	5.1%減	生産対比は6.74%増加	
一般廃棄物	減少傾向		
産業廃棄物	40%減	効率的に廃棄物を減少できた	
節水	28.3%減	昨年に引き続き削減できた	
化学物質使用量	17.1%減	使用量を削減できた	
電力使用量	4.5%減	節電効果が出ている	
<改善への提案> 生産対比の減少方法を考えていく。			
<b>[周囲の変化の状況]</b> ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情はありません ②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施 <改善への提案> ・維持			<b>[その他]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<b>[総括]代表者による指示事項</b> 会社の実態に応じた目標値の設定方法や基準項目の精査を今一度検討したかどうか。 派遣社員等の入れ替え等で周知と教育が大変ではあるが目標達成して行くためにも、努力を惜しまずに教育してほしい。			
平成33年2月26日			